

# 活動報告書

報告日付： 2020年 5月 13日

事業ID: 2018486388

事業名：長崎県大村市における第三の  
居場所の運営

団体名：社会福祉法人 大村子供の家

事業完了日： 2020年 3月 31日

## 1.事業内容（実績。700文字以内）：

### 1. 第三の居場所の運営

(1) 期間：2019年4月～2020年3月

(2) 場所：長崎県大村市

(3) 内容：生活困窮世帯等の児童を対象に、生活習慣や学習の支援を行う。

手作りの食事の提供や、スタッフと児童の信頼関係の構築、教科学習の習慣化、生活習慣の形成を図る。

### 2. 第三の居場所の安全性向上のための一部追加工事

(1) 期間：2019年4月～2020年3月

(2) 内容：開設後明らかになった危険箇所への対応（階段柵・夜間街灯・防犯カメラ等）、  
AED等の非常用物品の整備、駐車場の整備

### 3. 車両の配備

(1) 期間：2019年度内

(2) 対象：入所児童、その他関係者

(3) 目的：対象校区の拡大やアウトリーチの質向上

(4) 内容：8人乗りの車両を配備し、入所児童の送迎を可能な体制を構築する

## 2.事業内容詳細：

### 1.第三の居場所の運営

・学習の習慣化の為に学習時間の設定

学習を習慣化させるために学校の宿題を中心に月～木、一日30分を目安に学習時間を設定。

長期休みの時はオリジナル教材や市販のドリルを活用し毎日1時間程復習や予習など児童のレベルに合わせた学習を行う

・食育

可能な限り無添加の食材を使う。また敷地内で子どもと野菜を自家栽培しそれを調理に使用するようにしている。

昨今では家庭でレトルト食品など品数とレパートリーが少ない家庭も多いので、可能なかぎり品数を増やし、豊富なメニューで子ども達の食わず嫌いや苦手の克服をするよう目指している。

- ・生活習慣形成の為のお手伝い

生活習慣形成の一環として食後の食器の片付けを始め室内の掃除や食事の準備などを児童と一緒にいき生活の基礎を身に付けさせるのを目指している

## 2.第三の居場所の安全性向上のための一部追加工事

- ・防犯カメラの設置

敷地内数か所に防犯カメラを設置

- ・駐車場の整備

バリアフリーの一環として駐車場にアスファルトを舗装

- ・AEDの設置

建物内にAEDを設置、今後は適宜消防士を招き講習会を行う

## 3.車両の配備

(1) 受領車種名 セレナ ステップタイプ送迎車

(2) 納車・検収日 2020年4月14日

(3) 活用方法 近隣小学校の送迎やアウトリーチの質の向上に使用する。

## 3.契約時事業目標の達成状況：

### 【助成契約書記載の目標】

#### 1.拠点利用児童の募集

2.上記の登録児童の半数程度を、行政・学校からの被紹介者や公的扶助の受給世帯等、特に支援が必要な家庭の児童とする

3.児童への居場所、読み聞かせ、学習支援、食事などの安定的な提供

4.運営へのボランティアの参加による持続性の向上

### 【目標の達成状況】

1の達成状況：利用児童の募集を行った

2の達成状況：約78%が公的扶助の必要な世帯であった

3の達成状況：概ね達成できている

4の達成状況：まだまだ改善の余地有り

4.事業実施によって得られた成果：

1.第三の居場所の運営

- ・2019年8月から学習時間に復習や予習を導入し2020年3月までに学力の向上がみられた。
- ・2019年4月頃に手作り料理や野菜に嫌悪感を持っていた児童が拠点で夕食を摂るようになってから食事量の安定化、野菜の摂取をできるようになった。

2.第三の居場所の安全性向上のための一部追加工事

- ・防犯カメラの導入により24時間カメラによる録画ができ、スタッフの目の届かない場所で遊ぶ子ども達の安全を確保することができるようになった
- ・駐車場が以前は砂利だったのでベビーカーが不便だったり小さい子が転ぶなどしていた。また、施設自体は車椅子の子どもも利用できるよう建築していたが、駐車場がバリアフリーではなく、今後の受け入れが困難な状況にあった。しかし、アスファルトを舗装することで安全性が向上し、車椅子を利用した子どもの利用もハードルがさがることとなった。

5.成功したこととその要因：

- ・学習時間にその子に合わせた教材で学習ができたので復習がやりやすく学力の向上につながった

6.失敗したこととその要因：

- ・家庭での指導方針と拠点の指導方針の違いから生活習慣の改善で子ども達が混乱する場面が見えた
- ・中長期目標が曖昧で振り返りする材料があまりなかった。

7.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案：

- ・家庭とのコミュニケーションが薄く子どもの指導方針や学習のことですれ違いがあった。  
今後は保護者会の開催や保護者と児童との三者面談を複数回開催していく
- ・中長期目標をしっかりと設定し期間を設けしっかりと振り返りを行う
- ・拠点のビジョンが曖昧で新しい事を始めるときの判断が難しいので、しっかりとしたビジョンを策定し今後運営していく中で判断に迷わないようにする。